【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和7年4月2日(2025.4.2)

【公開番号】特開2022-176122(P2022-176122A)
【公開日】令和4年11月25日(2022.11.25)
【年通号数】公開公報(特許)2022-217
【出願番号】特願2022-76407(P2022-76407)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　8/29(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/81(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/25(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/31(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/37(2006.01)
Ａ６１Ｑ　1/12(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　8/29
Ａ６１Ｋ　8/81
Ａ６１Ｋ　8/25
Ａ６１Ｋ　8/31
Ａ６１Ｋ　8/37
Ａ６１Ｑ　1/12

【手続補正書】
【提出日】令和7年3月25日(2025.3.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
下記の成分（ａ）～（ｅ）；
（ａ）球状粒子、
（ｂ）二酸化チタン、
（ｃ）皮膜形成剤、
（ｄ）揮発性油剤、
（ｅ）界面活性剤
を含有する油性パウダーファンデーション。
【請求項２】
成分（ａ）の球状粒子の体積平均粒子径が、５～２０μｍである請求項１に記載の油性パウダーファンデーション。
【請求項３】
成分（ａ）の球状粒子が、ウレタンパウダー、アクリルパウダー、ナイロンパウダー、シリコーンパウダー、セルロースパウダー、シリカパウダーまたは炭酸カルシウムパウダーである請求項１に記載の油性パウダーファンデーション。
【請求項４】
成分（ａ）及び成分（ｂ）を、合計で、３５～５５質量％含有し、成分（ａ）と成分（ｂ）の質量比率が、１．５：１～１：１．５である請求項１に記載の油性パウダーファンデーション。

【請求項５】
成分（ｃ）を、固形分で３～３０質量％含有する請求項１に記載の油性パウダーファンデーション。
【請求項６】
成分（ｄ）が、沸点が１５０℃以上の揮発性油剤であり、該成分（ｄ）を５～５０質量％含有する請求項１に記載の油性パウダーファンデーション。
【請求項７】
成分（ｅ）が、ＨＬＢ１０以下の界面活性剤である請求項１に記載の油性パウダーファンデーション。
【請求項８】
さらに、成分（ｆ）ワックスを含有する請求項１に記載の油性パウダーファンデーション。
【請求項９】
さらに、成分（ｇ）有機変性ベントナイトを含有する請求項１に記載の油性パウダーファンデーション。
【請求項１０】
さらに、成分（ｈ）水及び多価アルコールから選ばれる少なくとも１種を含有する請求項１に記載の油性パウダーファンデーション。
【請求項１１】
水を含有しない、請求項１に記載の油性パウダーファンデーション。